



## アストンマーティン Vantage GT3 FIA 世界耐久選手権が久々に開催される COTA での栄光を追跡

- アストンマーティン新型 Vantage GT3、FIA 世界耐久選手権サーキット・オブ・ジ・アメリカズ（COTA）初走行で勝利を狙う
- アストンマーティンは、2020 年以来の WEC 開催となる米国オースティンの COTA で最も好成績を取っている GT マニファクチャラー
- Heart of Racing、WEC におけるホームレース「デビュー」に準備万端
- IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権にて Vantage が再び表彰台を獲得、Heart of Racing の GTD 連勝続く
- ワークスドライバーのロス・ガン、IMSA GTD Pro のポイント首位に迫る



2024 年 8 月 27 日、オースティン（米国）：

今週末、アストンマーティンは FIA 世界耐久選手権（WEC）で Vantage が素晴らしい成績を残している米国テキサス州サーキット・オブ・ジ・アメリカズ（COTA）開催のローンスタール・マンに、パートナーチームの Heart of Racing と D'station Racing と共に最新の Vantage GT3 で臨みます。

アストンマーティンほど COTA で圧倒的な好成績を誇るマニュファクチャラーは他にありません。WEC カレンダーに 2020 年以来の復帰となる COTA では、前回はアストンマーティンがダブルクラス優勝を果たしています。実際、英国のウルトラ・ラグジュアリー・スポーツカー・ブランドであるアストンマーティンは、シリーズが発足した 2012 年以降に COTA で開催された 6 つのレースで、9 つもの GT クラス優勝を獲得しています。勝率にすれば 75%、そのうちの 4 勝はダブルクラス優勝です。

今年初めにシルバーストンで初公開された新型ロードカーの Vantage から多くを受け継ぐアストンマーティンの新しい GT3 チャレンジャーは、アストンマーティンの実績ある接着アルミシャーシを中心に組み立てられ、強力な 4.0 リッター V8 ツインターボエンジンを動力源としています。世界選手権レベルでの優勝はまだ達成していませんが、他のカテゴリーでは既に実績を残し、9 つものマニュファクチャラーが激しい接戦を繰り広げる LMGT3 クラスでもますます頭角を表しています。

2023 年にスパ・フランコルシャンで WEC に初参戦して以来、初めてのホーム戦となる Heart of Racing は、先月ブラジルで開催された前回のサンパウロ 6 時間レースでは 2 位を獲得しています。その結果、チーム代表のイアン・ジェームス（英国）と、アレックス・リベラス（スペイン）、ダニエル・マンチネッリ（イタリア）は LMGT3 のポイントスタンディング 2 位を巡る戦いにおいて追い上げを見せています。

COTA に向かう現時点では 2 位とは 20 ポイント差、1 位とは 45 ポイント差の 4 位ですが、残り 3 レースで最大 91 ポイント獲得の可能性があります。これまで、シーズン開幕戦のカタール 1812km レースでも 2 位、ル・マン 24 時間レースでは表彰にはつながらなかったものの、レースのほとんどをアストンマーティンの Vantage GT3 が先頭を走るといふ快挙を見せています。

D'station Racing も、カタールで 3 位と今シーズンに表彰台を獲得しています。その後も、チームオーナーの星野敏を再びドライバーに迎えてクラス 10 位という重要な成績を記録したル・マン 24 時間レースをはじめ、各ラウンドでポイントを獲得する堅調な戦いを展開してきました。

COTA では、ル・マン以外のすべてのラウンドに出場してきたクレメント・マテウ（フランス）が星野に代わります。マテウと共にチームに加わるのは、FIA WEC の GT クラスで 3 度チャンピオンに輝き、ロレックス 24 時間レースとル・マン 24 時間レースでもクラス優勝を収め、さらに先日のスパ 24 時間レースで同じワークスドライバーのニッキ・ティーム（デンマーク）、マッティア・ドウルディ（イタリア）と共に優勝した、アストンマーティンで最も多くの勝利を経験しているワークスドライバーのマルコ・ソーレンセン（デンマーク）です。#777 のドライバーの最後を飾るのは、フランスおよびヨーロッパ GT4 のタイトル獲得者エル

ワン・バスタード（フランス）で、3名は Heart of Racing とわずか 11 ポイント差のスタンディング 7 位に入っています。

WEC 以外でも、IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権における Heart of Racing の戦いが白熱する中、アストンマーティン Vantage GT3 の勢いは既に高まりを見せつつあります。8 月 25 日、米国を拠点とする Heart of Racing は、バージニア・インターナショナル・レースウェイの 160 分間のスプリントレースで出場車が 2 台ともクラス 3 位以内に入り、表彰台獲得の連続記録を 5 回に伸ばしました。

#23 のアストンマーティン Vantage GT3 にアレックス・リベラス（スペイン）と共に乗り込むワークスドライバーのロス・ガン（英国）は、最近のカナディアンタイヤ・モSPORT・パークとワトキングズ・グレンでの勝利に続いて 3 位に入ったことでクラスのポイント首位との差を縮めています。現在スタンディング 2 位のガンと GTD Pro クラス首位との差はわずか 17 ポイント。これはレースの 1 位と 2 位に与えられるポイントの差である 30 ポイントより少ない数字で、インディアナポリスと、ロード・アトランタで開催されるプチ・ル・マンでの残り 2 レースで獲得可能なポイント数は 770 ポイントあります。

一方、#27 アストンマーティン Vantage GT3 の元 IMSA GTD チャンピオンのロマン・デ・アンジェリス（カナダ）と同じカナダ出身のチームメイトザカリー・ロビションは、前回のロード・アメリカ 3 位、7 月中旬のモSPORTの GTD クラス優勝に続き、GTD クラス 2 位に入りました。

アストンマーティンの耐久モータースポーツ責任者のアダム・カーターは、次のように述べています。「アストンマーティン Vantage GT3 は比較的短期間のうちに、GT の世界舞台で高い競争力を持つ存在としての地位を確立しています。そしてスパ 24 時間レース優勝と、IMSA ウェザーテック・スポーツカー選手権における Heart of Racing の複数のクラス優勝、D'station Racing の日本 SUPER GT クラス優勝に加え、かなり不運な出来事さえなければ、FIA WEC のクラス優勝も既に果たしていたはずでした。これまで、アストンマーティンは WEC において COTA で非常に良い成績を挙げてきましたし、Heart of Racing と D'station Racing の両者と共に戦えることで、新型 Vantage GT3 が今週末も好調の波を続けていく材料はそろっていると思います。」

ローンスター・ル・マンの公式練習は 8 月 30 日（金）の現地時間 12:40（英国標準時 18:40）、レースは 9 月 1 日（日）の現地時間 13:00（英国標準時 19:00）に開始されます。詳細は各シリーズの公式ウェブサイトと公式アプリでご確認ください。

## アストンマーティン・ラゴンダについて

アストンマーティンは、世界でもっとも熱望されるウルトラ・ラグジュアリー・ブリティッシュ

ユ・ブランドとなることを目指し、人々を魅了してやまないハイパフォーマンス・カーを作っています。

ライオネル・マーティンとロバート・バンフォードによって1913年に設立されたアストンマーティンは、スタイル、ラグジュアリー、パフォーマンス、エクスクルーシブネスを象徴するグローバル・ブランドとして知られています。アストンマーティンは、最先端のテクノロジー、卓越したクラフトマンシップ、美しいスタイルを融合させ、Vantage、DB12、DBS、DBXに加え、同社初のハイパーカーであるValkyrieなど、高い評価を得ている一連のラグジュアリー・モデルを生み出しています。また、Racing. Green.サステナビリティ戦略に沿って、アストンマーティンは2025年から2030年にかけて、PHEVとBEVを含むブレンドドライブトレインアプローチによる内燃エンジンの代替システムの開発にも取り組んでおり、電気自動車のスポーツカーとSUVのラインナップを持つという明確なプランを描いています。

英国のゲイドンを拠点とするアストンマーティン・ラゴндаは、ラグジュアリー・カーを設計、製造、輸出し、世界で50以上もの国で販売しています。スポーツカー・ラインナップはゲイドンで製造されており、ラグジュアリーSUVのDBXは、ウェールズのセント・アサンで製造されています。同社は、2030年までに製造施設をネットゼロにする目標を掲げています。

ラゴндаは1899年に設立され、1947年にアストンマーティンとともに故デビッド・ブラウン卿に買収され、現在は「Aston Martin Lagonda Global Holdings plc」としてロンドン証券取引所に上場しています。

2020年には、ローレンス・ストロールが同社のエグゼクティブ・チェアマンに就任し、未来の重要な分野に対して新たな投資を行うと同時に、アストンマーティン・アラムコ・フォーミュラ1®チームとともにモータースポーツの頂点へと復帰し、英国を象徴するブランドとして新たな時代へと乗り出しています。



<https://media.astonmartin.com/>

メディア問い合わせ先：

Aston Martin Lagonda  
Head of Regional Marketing & Communications-Asia Pacific  
有澤 久美子

[kumiko.arisawa@astonmartin.com](mailto:kumiko.arisawa@astonmartin.com)

Marketing & Communications Manager-Japan

松永 悠理

[yuri.matsunaga@astonmartin.com](mailto:yuri.matsunaga@astonmartin.com)

株式会社ブレインズ・カンパニー

加藤 七瀬：070-7611-6970 中井 美里：070-2238-5865

[astonmartin-pr@pjbc.co.jp](mailto:astonmartin-pr@pjbc.co.jp)